

1. 科目名 (単位数)	教職実践演習 (小学校) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE4391
2. 授業担当教員	沼澤 清一		
4. 授業形態	講義、演習、実習等を適宜利用する	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教職に関する単位を取得してから履修することが望ましい。 該当する教員免許状の希望者を受講対象者として、履修カルテを使用した授業を実施することから、履修できる学生は、小学校教諭の資格課程登録者のみとする。		
7. 講義概要	教職実践演習 (小学校) は、本学の教員養成に必要な「理論と実践」の融合を目指す科目として設定されている。これまでの学習を通じて身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、最終的に確認する科目である。 この科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようにすることを期待して実施される科目である。		
8. 学習目標	教員として求められる資質・能力の形成に関して、以下の目標を設定し、達成することができる。 ① 職務遂行に必要な使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項を再確認する。 ② 社会性や対人関係能力に関する事項の発揮に関しての再確認をする。 ③ 実習等で得られた幼児・児童・生徒理解の仕方や学級経営の在り方等に関する事項の再確認をする。 ④ 教科・領域等教育課程の実施に当たっての指導力・実践力に関する事項の再確認をする。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	【課題レポート】 ・次の1～3を課題レポートとする。 課題1: 「子供から学んだこと」の視点でレポートを作成し提出する。 課題2: 履修カルテの作成・提出にあたって、教員の資格を取得することへの自分なりの意義について4年間の学生生活からの学びを振り返りレポートを作成し提出する。 【振り返りシート】 「日常の学習状況」に加味する。 指定された講義の終了後、講義によって何が解決され、何が解決されなかったのか、また、自分自身はどのような考えを持ったのかなどについてまとめ、講義終了の3日後までに提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】教科書は使用しない。 【参考書】文部科学省編『学習指導要領解説 総則編』2020 年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 学習目標の実現度において評価する。 ○評定の方法 日々の授業態度、参加度 30% レポート課題 40% 日常の学習状況 30%		
12. 受講生へのメッセージ	今、大きく変わろうとしている教育界。新学習指導要領の根底には、主体的・対話的で深い学びの実現に向けての授業改善があり、特に、探究を中心とした総合的な学習の時間の位置づけがあります。「主体的」「対話的」が求められる授業改善を行うには、まず、教師となる皆さんがそうした姿勢、そうした学びの楽しさを実感していなければなりません。そこから生まれる「深い学び」を楽しみましょう。 子どもの前で、「失敗していいよ」「失敗から学ぶんだよ」と言える教師になるために、講義は、自分から「失敗を超えて学ぶ姿勢」で取り組んでください。		
13. オフィスアワー	初回授業時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション ・本講義の内容と流れの確認 教職履修カルテと教育実習日誌から各自の成果と課題を明確にし、課題解決のために何を行うかを発表する。	事前学習	本授業のシラバスの確認 教職履修カルテと教育実習日誌の通読と自己課題の把握をしておく
		事後学習	自己課題解決のための今後の取り組みをまとめる
第2回	「教える」と「学ぶ」 学ぶ者こそ教えることができる、という視点からの教育の在り方について資料を基に話し合う。	事前学習	「教えること」と「学ぶこと」の位置づけについて教員としての立場からの考えを具体的な姿でとらえてくる。
		事後学習	これまでの自分の考えと比べての相違点と共通点を確認し重要点をまとめる。
第3回	教育実習の振り返り① 教育実習を振り返り、子供の姿から学んだことを発表する。 グループでの意見交換を通して	事前学習	教育実習を振り返る。
		事後学習	発表後の意見交換から考えたことなどをとって課題1のレポート作成を始める。
第4回	教育実習の振り返り② 教育実習を振り返り、子供の姿から学んだことを発表する。 グループでの意見交換を通して	事前学習	教育実習を振り返る。
		事後学習	意見交換から考えたことなどを参考に課題1のレポートの作成を進める。
第5回	教育実習の振り返り③ 教育実習を振り返り、子供の姿から学んだことを発表する。 グループでの意見交換を通して	事前学習	教育実習を振り返る。
		事後学習	意見交換から考えたことなどを参考に課題1のレポートを完成する。
第6回	教育現場での事例をもとにグループ討議を行う。本時を第7回～第11回の発表の形式	事前学習	自分の関心を持っている教育に関するテーマについて考えておく。

	についての確認の場とする。	事後学習	自分の関心を持っている教育に関するテーマについてまとめる。
第7回	教育について① 自分の関心を持っている教育に関するテーマについて、意見の提案・課題提示を行う。その後、学び合いの中心となって進行し、課題の解決に迫る。	事前学習	自分の関心を持っている教育に関するテーマについてまとめ、意見の提案・課題提示を行い話を進める準備をしておく。
		事後学習	発表について、自分の考えの変化を中心にまとめる。
第8回	教育について② 自分の関心を持っている教育に関するテーマについて、意見の提案・課題提示を行う。その後、学び合いの中心となって進行し、課題の解決に迫る。	事前学習	特になし。
		事後学習	発表後の話し合いの感想をまとめ、自分の学びに繋げていく。
第9回	教育について③ 自分の関心を持っている教育に関するテーマについて、意見の提案・課題提示を行う。その後、学び合いの中心となって進行し、課題の解決に迫る。	事前学習	特になし。
		事後学習	発表後の話し合いの感想をまとめ、自分の学びに繋げていく。
第10回	教育について④ 自分の関心を持っている教育に関するテーマについて、意見の提案・課題提示を行う。その後、学び合いの中心となって進行し、課題の解決に迫る。	事前学習	特になし。
		事後学習	個に応じた対応の仕方についてまとめる。
第11回	教育について⑤ 自分の関心を持っている教育に関するテーマについて、意見の提案・課題提示を行う。その後、学び合いの中心となって進行し、課題の解決に迫る。	事前学習	特になし。
		事後学習	発表後の話し合いの感想をまとめ、自分の学びに繋げていく。
第12回	履修カルテの作成・提出にあたって、教員の資格を取得することへの自分なりの意義について4年間の学生生活からの学びを振り返り意見交換をする。	事前学習	履修カルテの記入を確認する。
		事後学習	履修カルテを完成する。
第13回	現在の学校の把握 社会における現在の学校の在り方について自分なりの考えをまとめ発表する。	事前学習	卒業にあたって、これまでの学校生活を振り返り、社会における現在の学校の在り方について自分なりの考えをまとめておく。
		事後学習	授業で気になった内容について調べ、次時の授業に繋げる。
第14回	教員としての生きがいについて 教育実習で指導を受けた先生方等の姿を参考にして、教師であることの生きがいについて意見交換をする。また、自分の子供を学校に通わせる時の親から見た教師の生きがいについても捉えさせる。	事前学習	教育実習でお世話になった先生方の姿から教師の生きがいについて考えて来る。
		事後学習	2つの視点から教師の生きがいを捉えることによって、自分の将来についての視野を広げる。
第15回	教師に求められる資質について、討論し発表する。 本授業の振り返りとまとめ	事前学習	講義を振り返り、教師に求められる資質について考えてくる。
		事後学習	各自で、目指す教師像を考えておく。